

# くらしのみちゾーン新規登録地区の例

大阪府岸和田市 岸和田駅周辺地区

(応募主体：岸和田市エコロジーサイクルシステム導入実験実行委員会)

## 現況

当該地区は市の中心市街地ですが、人口減少・高齢化、都市的サービス産業の衰退、気軽に集い憩える場所の不足、歴史的資源を活かしていないことなどにより、都市的魅力が低迷しています。また、幹線道路が生活道路として利用されるようになった結果、交通事故が増大し、歩行者・自転車の安全が脅かされています。



閑散とした駅前商店街



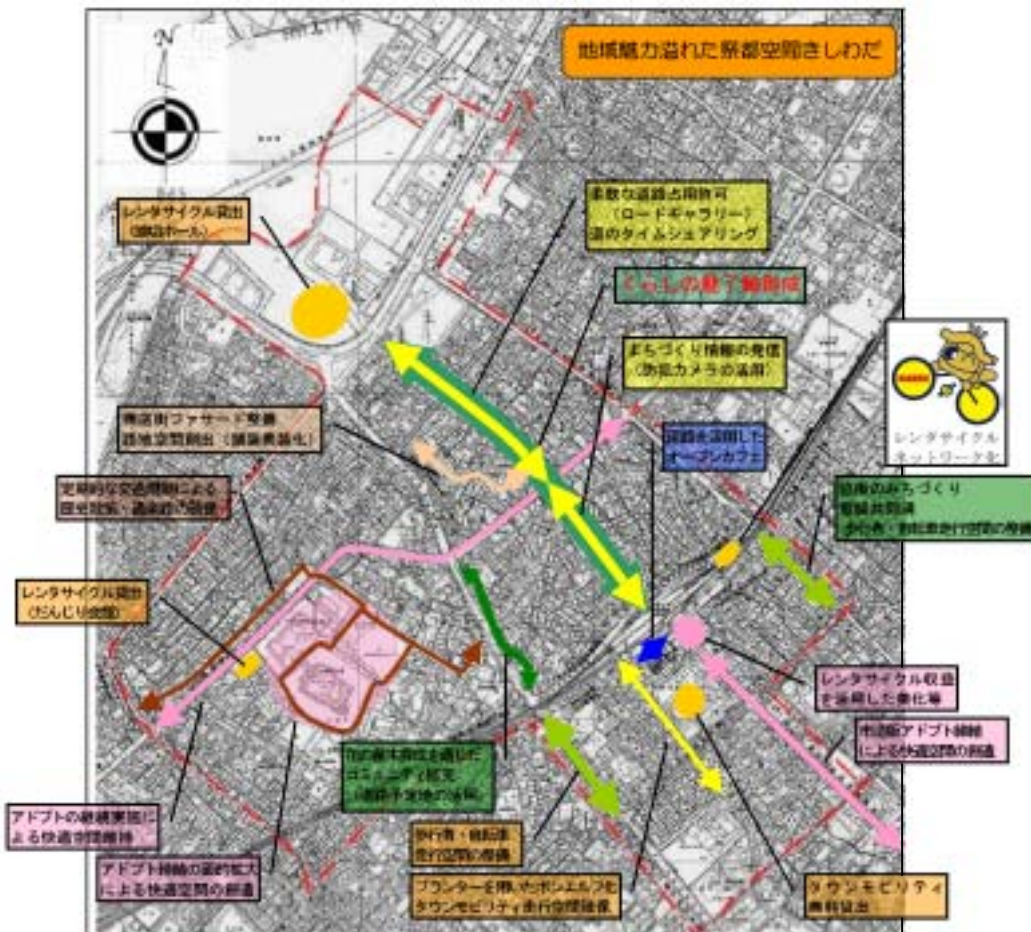
紀州街道と歴史的まちなみ



幹線道路の生活道路化

## 整備イメージ

行政と住民の協働のもと、既存ストックを活かして「道くさ」したくなる空間を形成し、幹線道路を利用している歩行者を生活道路に集約することにより、幹線道路における交通事故の削減を目指します。また、歴史的まち並みなどの保全と活用を図るとともに、賑わい空間づくり、緑化・街の美化活動、商店街ファザード整備にあわせた舗装の美装化を展開し、都市的魅力あふれた景観形成を目指します。



## 道のタイムシェアリング概念

公共空間を有効活用するため、まちづくりニーズに応じて道路利用形態を自在に変化(シェア)させる。

